

# 電波時計 取扱説明書

## (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

### も く じ

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください	2
2. お手入れについて	2
3. 電池・時計の廃棄	2
4. 電波時計について	3
■電波時計とは	
■標準電波とは	
■標準電波の送信停止について	
■標準電波の受信範囲について	
■海外でのご使用について	
標準電波を受信しにくい環境	
5. 各部の名称と役割	4
6. ご使用方法	5
標準電波-受信の流れ	5
報時機能を使う	6
液晶表示について	7
明暗センサーのはたらき	7
7. 時計の掛けかた	7
8. 標準電波を受信できない場合	8
手動での日時合わせ	
電波受信機能のON/OFFについて	
9. 電池の交換時期お知らせ機能について	9
■電池の種類について	
■電池の寿命について	
10. 温度・湿度表示について	10
11. おもな製品仕様	11
保証書	裏表紙
アフターサービスについて	
お問い合わせ先	

製 造 リズム株式会社  
発 売 元

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
<https://www.rhythm.co.jp>


# 1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください


この注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。


●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

## **警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る


- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。


 梱包用のポリ袋をかぶらない  
窒息する恐れがあります。


 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。


## **注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容


 電池の⊕⊖を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。

 ぬれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。

 分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。

 下記のような場所では使わない  
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 2. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。



## 3. 電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

## 4. 電波時計について

### ■ 電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

### ■ 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

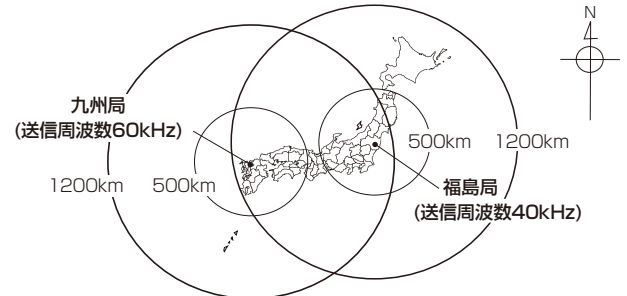
※アドレスは変更になる場合があります。

### ■ 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### ■ 標準電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### ■ 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

## 標準電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



- 金属製の雨戸やブラインドの近く



- 地下やビルの谷間



- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く



- 朝夕の時間帯、雨天のとき



- 家電製品やOA機器の近く



- スチール机等の金属製家具の上や近く

- 窓のないデパートのフロア

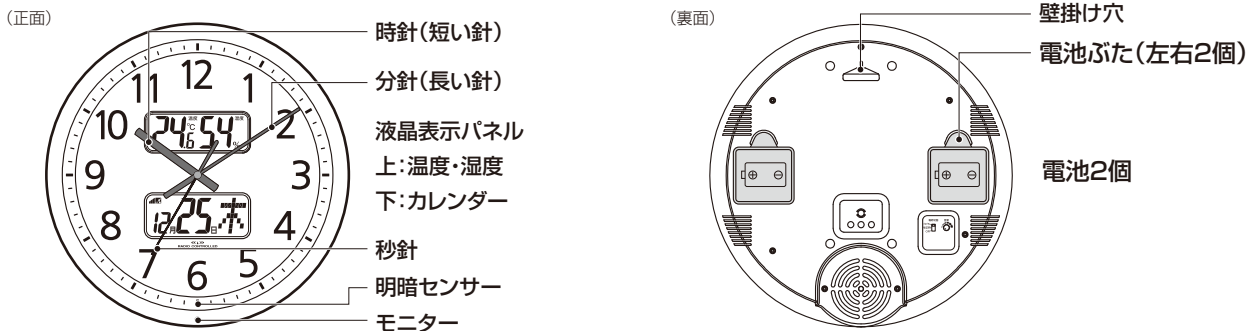
- 大規模オフィスの窓から遠く離れた所

- 家電量販店などノイズが多い所

## 5. 各部の名称と役割

この取扱説明書は、3つの機種に対応しています。機能が異なる場合は、対象となる型番を記載しております。説明用の図は、代表的な型番を使用しています。

### 4FN403 プログラム報時 24チャンネル デジタルカレンダー、温湿度表示



### 4FN404 プログラム報時 36チャンネル デジタルカレンダー、温湿度表示

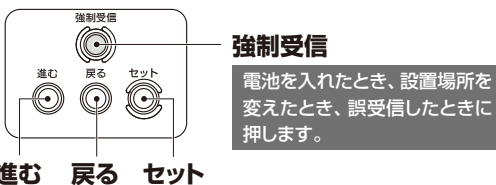


### 4FN405 プログラム報時 24チャンネル デジタルカレンダー



#### 共通

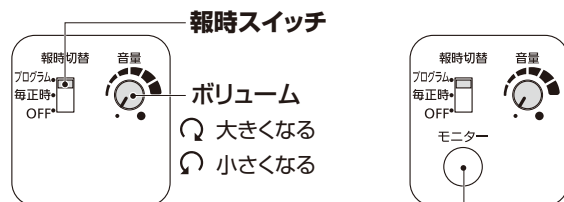
(裏面操作部)



手動で日時を合わせるときやチャンネルに時刻を設定するときに使用します。

#### 4FN403

#### 4FN404 4FN405



モニターは時計正面6時下

モニター

\*モニターは報時スイッチがOFFのときは機能しません。

#### メモ

- 液晶表示は、見る角度により薄くなったり、ムラになったりします。これは液晶の特性によるものです。
- この時計でのプログラム報時とは、チャンネルに設定された時刻(時、分)にチャイムを鳴らす機能です。
- 1つのチャンネルに1つの時刻が設定できます。24チャンネルの場合は最多で24の時刻を設定できます。

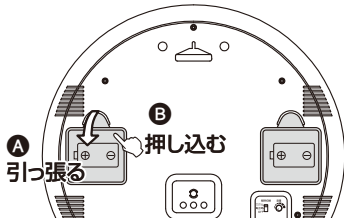
\*図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

## 6. ご使用方法 電波を受信して日時を合わせる

電池は付属しておりません。

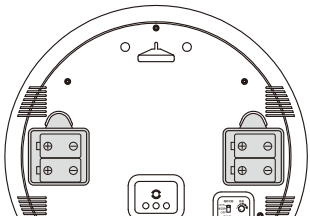
4FN403、4FN405は単2形アルカリ乾電池を2個、4FN404は単2形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

### 4FN403、4FN405



単2形アルカリ電池(推奨) 2個

### 4FN404



単2形アルカリ電池(推奨) 4個

電池ふたの着脱

Ⓐ取るとき: 引っ張る

Ⓑ取り付けるとき:

電池ふたを載せて押し込む

手動で日時を合わせるときは、

**手動での日時合わせ** (P.8)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる


②強制受信を押す **標準電波一受信の流れ** 参照

針が早送りで4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。

※受信が終わるまで、ボタン操作をしないでください。

③「7.時計の掛けかた」(P.7)に従って確実に掛ける

④16分待つて受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。受信に成功しているときは、電波マーク  が点灯します。

**報時機能を使う** (P.6)に従って、機能を設定してお使いください。

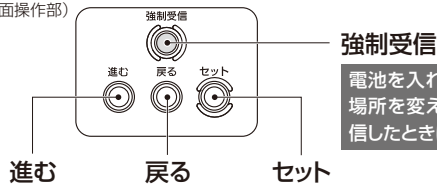


**注意**

電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

### 共通

(裏面操作部)



### 静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

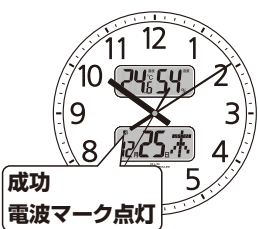
### 標準電波一受信の流れ

強制受信ボタンを押して受信しているとき、暗い所で受信しているときは、温度・湿度を表示しません。



針が早送りで4、8、12時のいずれかに移動して停止

受信終了  
(最長16分後)



(表示例)



強制受信を押した直後のカレンダー表示部



電波マーク 受信中点滅



① 電波マークの見かた(電波サーチ機能)

■ 電波マークの変化について

短い間隔で点滅してから、1秒点滅に切り替わります。電波マークは、電波の状態に応じて1秒点滅で変化します。受信できません …………… ▶ 受信しやすい



①または②の状態が続くときは設置場所を変えてください。

② 受信結果の見かた

▶ 受信成功 電波マーク  が点灯表示になります。電波マークは受信成功後、およそ25時間点灯します。

▶ 受信失敗 電波マークは消灯します。

表示されている日時は正しくありません。

「8.標準電波を受信できない場合」(P.8)へ

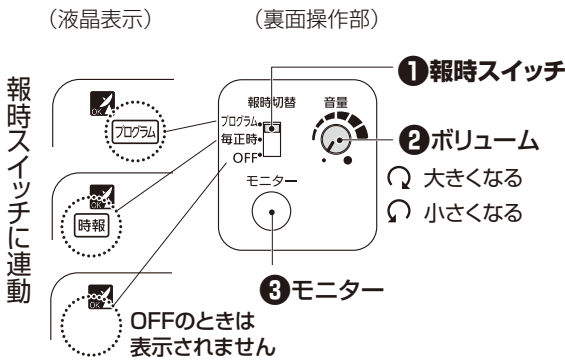
※受信に成功しても日時が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信を押してください。

※受信マークは、25時間以内の受信結果を表示します。

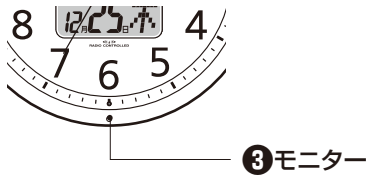
# 報時機能を使う

報時機能は、報時スイッチにより選択して使用することができます。

- ①「プログラム」: 事前に設定した時刻にウェストミンスターチャイムを鳴らすプログラム報時機能。
- ②「毎正時」: 毎正時、たとえば10時00分に「ボーン」と10回鳴らす毎正時報時機能。



4FN403のモニターは時計正面にあります



## ①報時スイッチ 報時機能を選択してください。

- プログラム** 設定時刻にウェストミンスターチャイムを鳴らす。  
事前に鳴らす時刻を設定する必要があります。  
→「■ プログラム報時の設定」
- 毎正時** 毎正時に、時刻に対応した数だけ「ボーン」と鳴る。  
明暗センサーと連動して暗くなると鳴らなくなります。
- OFF** 報時機能を停止します。

## ②ボリューム 報時音の大きさを調節してください。

## ③モニター 報時音を試聴するときに押してください。

報時スイッチを「プログラム」または「毎正時」にして、モニターを押してください。試聴しているときに、モニターを押すと止まります。

- プログラム** : ウェストミンスターチャイムが鳴り、カレンダー表示部に設定時刻を順に表示します。
- 毎正時** : 現在時刻に対応した数だけ「ボーン」と鳴る。
- OFF** : 鳴りません。

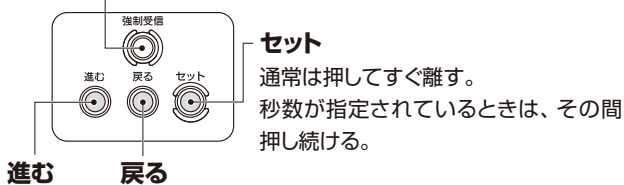
## ■ プログラム報時の設定

4FN403、4FN405は24チャンネル、4FN404は36チャンネルに時刻を設定することができます。

- チャンネルに時刻を設定するとその時刻にチャイムが鳴ります。..... **A**へ
- 設定したチャンネルを解除(鳴らなく)するには時刻を未設定にします。..... **B**へ

※設定した内容は、電池を取り外しても保持しています。

**強制受信** 不用意に押すと設定を終了し、針が動き出します。  
受信機能がONのときは受信を開始。



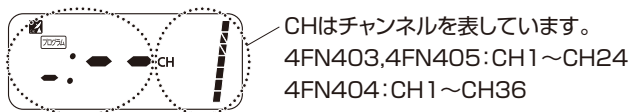
時刻を合わせるときに使います。

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

## プログラムチャンネルの表示例

カレンダー表示部に点滅表示されます。

時刻未設定の表示



時刻設定中または設定済みの表示例



時刻(時:分) 午後の時間帯のみ「午後」を表示

## A チャイムを鳴らす時刻の設定

- ①**セット**をCH1が表示されるまで約2秒間押し続ける。
- ②**セット**を押してチャンネルを選択。
- ③時刻を**進む**または**戻る**で設定して**セット**を押す。→②へ  
最後のチャンネルのときに**セット**を押すとカレンダー表示に戻ります。  
※設定を終わるには**セット**を約2秒間押し続けるとカレンダー表示に戻ります。

## B チャンネルに設定した時刻の解除

- ①**セット**をCH1が表示されるまで約2秒間押し続ける。
- ②**セット**を押してチャンネルを選択。
- ③**進む**と**戻る**を同時に押すと時刻が未設定に変わる→②へ  
最後のチャンネルのときに**セット**を押すとカレンダー表示に戻ります。  
※設定を終わるには**セット**を約2秒間押し続けるとカレンダー表示に戻ります。

○A/Bのときに約1分間ボタン操作を中断すると設定を終わります。

## C 設定内容を確認するには

- ①**報時スイッチ**を「プログラム」にする。
- ②**モニター**を押す。  
チャイムが鳴り、CH1から順に表示します。表示しているときに、**モニター**を押すとカレンダー表示に戻ります。

## 液晶表示について

液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がくっきりと見やすくなっています。使用している液晶の特性上、他の方向から見ると、表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。

## 明暗センサーのはたらき

明暗センサーにより、暗くなると秒針を12時位置で停止させ、「毎正時」の報時を停止させます。

昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

※明るくなると再び秒針が正しい時刻に早送りで復帰します。

※報時スイッチが「プログラム」のときには、暗くても報時をします。

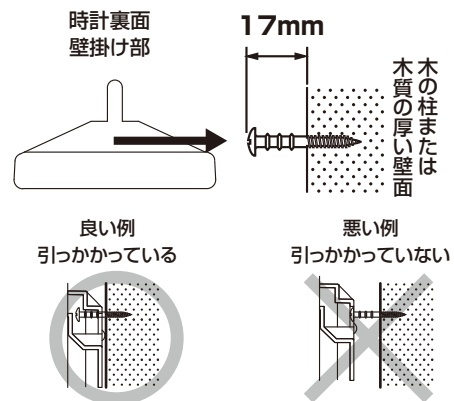
## 7. 時計の掛けかた

**注意** 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛け具を掛けしないでください。

### ■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは右図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



### ■ 石こうボードの壁面の場合

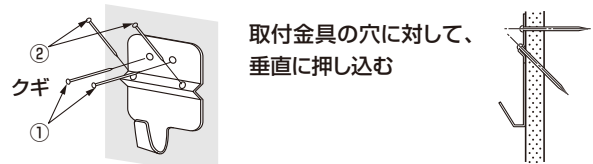
付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上で使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

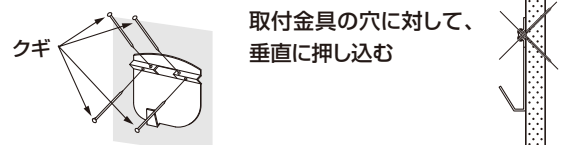
#### 取り付け方法

##### 取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。

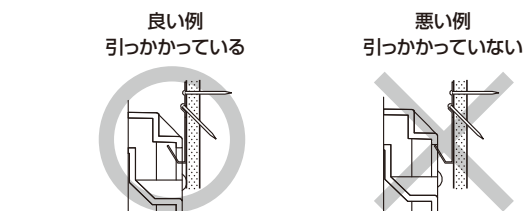


##### 取付金具 タイプB



### ■ その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重さに合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。



## 8. 標準電波を受信できない場合

### ●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせて一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

### ●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**強制受信**を押して再度受信を行ってください。

### ●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。

電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

## 手動での日時合わせ 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

(1) **戻る**または**進む**を西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2) 西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

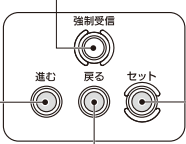
● **進む**または**戻る**を押して数値を合わせます。

● **セット**を押すと次のステップに移ります。

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、カレンダー表示に戻ります。

(裏面操作部)

**強制受信** 不用意に押すと設定を終了し、針が動き出します。  
\*受信機能がONのときは受信を開始。



**セット**  
通常は押してすぐ離す。  
秒数が指定されているときは、その間押し続ける。

**進む**      **戻る**

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

※手動では、2012~2099年の範囲で日時を設定できます。

### 操作例に従って設定してください

#### ① 設定状態にする



**進む**または**戻る**を西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

#### ② 西暦年



西暦年を**進む**または**戻る**で合わせて**セット**を押す。

#### ③ 月日



月日を**進む**または**戻る**で合わせて**セット**を押す。

#### ④ 時刻



時刻を**進む**または**戻る**で合わせて**セット**を押す。

\*午後の時間帯のみ「午後」を表示

※**進む**または**戻る**を押すたびにゼロ秒になります。

※**進む**または**戻る**を押すと針が停止します。

#### ⑤ 電波受信機能のON/OFF 選択



**進む**または**戻る**で、電波受信のON/OFFを選択して**セット**を押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送りで、設定した時刻に移動してから、時を刻みはじめます。



図はOFFを選択したときの表示例です。

## 電波受信機能のON/OFF について

任意の日時に設定してお使いになるときや誤受信しやすいところでご使用になるときは、電波受信機能をOFFにすることができます。電波受信機能のON/OFFは「手動での日時合わせ」の操作の中で行います。

○ON(有効):定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。

○OFF(無効):電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。

○回路内に電荷がなくなった後に、電池を入れると電波受信機能がONになります。

○受信機能がOFFのときに、強制受信を押すと一時的に液晶表示が消えて針が早送りしてから時刻を表示します。

○受信機能をOFFからONにしたときには、**強制受信**を押して受信を開始させてください。



## 9. 電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に停止して液晶表示部に電池マークが表示されます。このような状態になったときには、速やかにすべての電池を新品に交換して**強制受信**を押してください。

電池マークが表示されると次の機能が停止します。

- ①標準電波の受信
- ②毎正時の報時

プログラムチャイム機能は停止しません。

時計と分針はこのような状態になってから1ヵ月程度動きます。

電池マーク



### **⚠ 注意** 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても定期的に交換する。

交換する目安は、製品仕様の電池寿命の項目をご覧ください。

報時機能を使用しないと電池は長持ちしますが、長期間使用すると電池が液漏れを起こしやすくなりますので、最長でも5年を目安にして交換してください。

- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。



### ■ 電池の種類について

- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。

(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

### ■ 電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

時計が設置された所の温度と湿度を表示します。

センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。

## ● 次のようなときは温度・湿度を表示しません。

- 電波受信機能がONのときに強制受信ボタンを押したとき。
- 暗い場所で自動受信をしているとき。

## ● 設置場所について

- 本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。床暖房などしていない一般的な室内では、低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでできます。

## ● 温度・湿度の表示について

- 湿度は、相対湿度表示です。
- 測定範囲を超えたときは、「Lo」または「Hi」が表示され、次のことを表しています。

**温度** Lo : -9.9℃より低温 HI : +49.9℃より高温

**湿度** Lo : 20%RH未満 HI : 90%RHより高い --: 計測できない

温度が5℃未満または45℃を越えたときには、湿度の測定ができません。

Ⓢ 厳密な温度・湿度管理、温度・湿度の証明や取引には使用できません。

## メモ……相対湿度

空気のなかにどれだけ水蒸気(水が気体になったもの)があるかを示すものです。

単位体積当りの空気に取り込める水蒸気の最大量は温度によって変わり、これを飽和水蒸気量といいます。この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。

「%RH」は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には、単に「%」で表示されることが多いです。

## 11. おもな製品仕様

	4FN403	4FN404	4FN405
使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと		
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒 温度が5～35℃のときのクォーツ精度		
デジタル表示	LCD(液晶) (注1)		
温度表示範囲	-9.9～+49.9℃		なし
温度精度	±2℃		
湿度表示範囲	20～90%RH 温度が5～45℃の範囲のとき		
湿度精度	±10%RH		
カレンダー	2012～2099年対応		
推奨電池	単2形アルカリ乾電池 2個	単2形アルカリ乾電池 4個	単2形アルカリ乾電池 2個
電池寿命	約2年	約4年	約2年
	標準電波の受信に成功して、秒針が1日当たり8時間停止 プログラム報時を10回/日 音量中位で鳴らした場合		
暗所秒針停止	明暗センサーに連動して12時位置に停止		
電池交換時期お知らせ機能	電池マークが点灯して秒針が12時位置に常時停止		
電波時計機能	標準電波を受信して日時を自動修正		
受信局	福島局/九州局 自動選択		
受信機能	ON/OFF切り替え可能		
自動受信回数	最少 1回/日 最多 6回/日		
自動受信時刻	2、3、4、12、13、14時 各時間帯の16分20秒 *2時16分20秒は必ず行う		
手動時刻合わせ	デジタル設定方式		
毎正時報時	毎正時、時刻に応じた数だけ「ボーン」と鳴る		
暗所鳴り止め機能	あり		
プログラム報時	設定した時刻にウェストミンスターチャイムが鳴る		
プログラムチャンネル	24	36	24
暗所鳴り止め機能	なし		
音量調節	ロータリー式ボリューム		

### 注1 液晶について

▷0℃以下では表示が薄くなったり、反応が鈍くなったり、消えたりすることがあります。40℃以上では表示が濃くなったり、ムラになったりすることがあります。温度が0～40℃になれば正常に戻ります。

▷液晶はおよそ5年を経過すると表示が薄くなる可能性があります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、 取付金具 1個、 くぎ 4個、 取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。  
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

#### ■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 様

ご住所

TEL( ) -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

## 保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
8. 電池の交換

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

#### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

(フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、本体裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4FN○○○